

日本部活動学会

第5回 研究集会の開催のご案内

～主権者教育と部活動の関係を探る～

日本部活動学会（会長 関西大学 神谷 拓）では、以下の通り、部活動における自治活動やシティズンシップ教育に焦点をあてた研究集会を開催します。

最近、学校現場では校則の見直し・再検討のさざ波が広がってきています。子どもの権利条約に照らし合わせたときに未だに理不尽な校則も少なくなく、見直し・再検討の作業には生徒の声も反映させる学校が多いようです。この全国的な動きは社会的にも歓迎されるでしょう。そう考えたときに、部活動はどうでしょうか。多くの学校は部活動の予算を生徒会費から捻出しています。ですから部活動は生徒会活動の一環として捉えている学校が多いはずですが、しかし、「ブラック部活動」の見直し・再検討に、当の生徒たちの声を反映させたでしょうか。ブラックには教師が負った側面と生徒が負った側面があったはずでした。

生徒会活動は生徒たちの自主的で主体的な関わりを基盤として、様々な社会経験を積ませる組織です。ですから部活動も、単に文芸活動やスポーツ活動を推進するだけではなく、また、大人が整えた環境で技術力、競技力、精神力といったことだけを鍛える場ではありません。組織づくり、組織運営、組織拡大、他の組織との連携と調和などを学習内容として、生徒の力を育む必要があり、自治活動やシティズンシップを育む教育的な側面を担っているのではないのでしょうか。

今回の研究集会では、この部活動における自治活動やシティズンシップ教育に焦点をあてて、実践報告がなされます。先進的な実践報告から部活動の埋もれがちな可能性を探りたいと思います。と同時に、自治活動やシティズンシップ教育が拡大しない理由や、地域に移行・展開する部活動に自治活動やシティズンシップ教育を継承する方策について考えたいと思います。自治活動やシティズンシップ教育をくぐらせながら、生徒たちが自ら「ブラックさ」を自覚でき、声に出せるようになると期待しています。

日本部活動学会 事務局
岐阜大学教育学部 柴崎研究室内

<https://jaseca2017.jimdofree.com>



名称 日本部活動学会 第5回研究集会『主権者教育と部活動の関係を探る』

主催 日本部活動学会

会期 2022年12月10日(土) 12:30～16:30

会場 山梨英和中学校高等学校(山梨県甲府市愛宕町112番地)

連絡先 山梨英和中学校高等学校(堀江なつ子)

内容 開会式(12:30～12:40)

開会の挨拶(会長 神谷拓)

趣旨説明(実行委員長 堀江なつ子)

基調報告(12:40～13:10)

「主権者教育に向けた部活動のあり方」(仮題) 日本教育実践研究所 所長 長沼豊

シンポジウム(14:10～16:00) コーディネーター 神谷拓

① 文化部の現場から 長野県立松本深志高校 林直哉

② 運動部の現場から 駿河台大学/一般社団法人 Moonlight Project 平野和弘

③ 地域の現場から NPO 法人 日本地域部活動文化部推進本部(Pocca) 齊藤勇

閉会式(16:00～16:10)

閉会の挨拶(副会長 中屋晋)

情報交換会(17:00～19:00)

イタリアンレストラン Barolo 会費:5,500円

参加費 会員(一般):¥1,000

会員(学生):無料

非会員(一般):¥2,500

非会員(学生):¥500

申込先 <https://www.kokuchpro.com/event/cf6fac8cb6567fc67b3dbcc66db36e61/>

交通 JR 甲府駅徒歩7分。

お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



日本部活動学会

日本部活動学会 設立宣言

- ・部活動のあり方をじっくり研究し、関係する皆様との相互研鑽を図る場とします。
- ・研究と実践の往還を重視します。

日本部活動学会の使命

- ・部活動に関する学術的な研究を進めます。
- ・部活動の実践課題を明らかにし分析・考察します。
- ・部活動のあり方を追究するとともに、実践に資する知見を創造し蓄積します。

大会・研究集会

日本部活動学会では

- ・研究の知の蓄積を図り、会員の交流を深める「大会」を年1回、3月に開催します。
- ・実践研究をメインとした「研究集会」を年1回、秋～冬に開催します。

事務局：岐阜大学教育学部 柴崎研究室内
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1

HP <https://jaseca2017.jimdofree.com>
E-mail jaseca2017@gmail.com

